

## 令和4年度 第6学年 学級経営案

学 校 教 育 目 標									
ふるさとを愛し、一人一人が輝く徳・知・体の調和のとれた児童の育成 【かしこく】進んで学び、よく考える児童 【なかよく】思いやりをもち、助け合う児童 【元気よく】礼儀正しく、ねばり強い児童									
学 級 目 標									
○友達と協力し、思いやりのある行動、言葉かけができる児童の育成（徳） ○学習にまじめに取り組み、自分の考えを表現することができる児童の育成（知） ○決まりを守り、何事にも一生懸命に取り組み、元気いっぱいに過ごすことのできる児童の育成（体）									
具 体 的 な 取 組						評 価			
						I	II	III	
かしこく	1	当該学年の漢字を中心にミニテストを行い、定着を図る。							
	2	自分の考えを表現するために、週に1回以上、討論の時間を設ける。							
	3	生活経験から課題を見出し、意欲的に取り組める導入の工夫に努める。							
	4	1時間の授業の流れを振り返りやすい板書の工夫に努める。							
	5	ICT 機器を活用し、学習意欲の喚起と視覚的配慮に努める。							
	6	児童の実態に応じた補充指導と発展指導を計画的に行ったり、支援員と協力したりしながら個別指導の充実に努める。							
なかよく	1	月に1度の学校アンケートを活用し、いじめの早期発見、未然防止に努める。							
	2	授業や行事を通して、児童一人一人が学級への所属感が持てる指導を工夫する							
	3	友達や家族、地域の方々との関りを深める学習や活動において、感謝の心や思いやりの心を育てる機会を増やす。							
	4	互いの良さや頑張りを認め合う場を帰りの会で設定し、共有する時間を設ける。							
元気よく	1	1時間の授業の中で、児童全員の運動量を確保できる計画を立てたり、昼休みの外遊びを計画したりして、体力の向上に努める。							
	2	スポーツテストの結果等より児童の実態を把握し、課題を解決できる運動を授業の中に取り入れ、体力の向上に努める。							
	3	早寝早起き、朝ご飯、バランスのとれた食事の重要性を保健体育や家庭科、生活の中で認識させ、規則正しい生活、よりよい生活を目指す態度の育成を図る。							
	4	安全な登下校や自転車の乗り方など、学級活動や帰りの会でなどで指導を行う。							
郷土愛	1	幼保小中連携事業、乗り入れ授業等を通して、地域とのつながりを深めていく。							
	2	花いっぱい活動や総合的な学習の時間など、地域の方とのふれ合いを通して、地域を愛する心を育てていく。							
	3	地域の人材を活用し、学習活動、内容の充実に努める。							
	4	湯前PR隊の活動では、地域の素材に目を向け、地域の人材を活用し、活動の充実に努める。							
	5	湯前PR隊の活動を通して、地域のよさを再認識できるように、活動内容の充実に努める。							
学期評価（達成状況 達成← 4、3、2、1 →未達成）									

